



## 2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月13日

上場会社名 神田通信機株式会社  
 コード番号 1992 URL <http://www.kandt.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 神部 雅人  
 (氏名) 高橋 昌弘  
 TEL 03-3252-7731

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	3,959	13.1	96		41		52	
2018年3月期第3四半期	3,501	3.8	105		51		62	

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 69百万円 ( %) 2018年3月期第3四半期 20百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	65.63	
2018年3月期第3四半期	78.54	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	6,124	3,593	58.7	4,484.45
2018年3月期	7,142	3,703	51.9	4,621.23

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 3,593百万円 2018年3月期 3,703百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		50.00	50.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				50.00	50.00

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	11.1	120	24.9	170	25.4	100	33.8	124.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	874,409 株	2018年3月期	874,409 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	73,046 株	2018年3月期	72,971 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	801,388 株	2018年3月期3Q	801,677 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。詳細は[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、日本国内で相次ぐ自然災害等の影響や米中貿易摩擦による景気の減速懸念、新興国の経済減速など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、永年にわたり培った情報・通信・映像事業の技術力に加え、照明制御業界内においてDALI制御のS I e r (注)として最も実績を有する先駆的企業として社会に適合したソリューションビジネスを展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は39億59百万円(前年同四半期比13.1%増)となり、営業損失は96百万円(前年同四半期は営業損失1億5百万円)、経常損失は41百万円(前年同四半期は経常損失51百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は52百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失62百万円)となりました。

(注) S I e rはシステムインテグレーションを行う事業者の総称であり、情報システムの企画、設計、開発、構築、導入等を請負うサービスを提供しております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」の「2. 報告セグメントの変更に関する事項」をご参照ください。

#### ① 情報通信事業

ネットワークインフラの設計・提案・構築、自社ブランドパッケージソフトの開発と販売、一般企業・社会福祉法人向け等のシステム開発及びハード、ソフトのサポートサービスを積極的に展開いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は37億63百万円(前年同四半期比14.8%増)、営業損失は1億6百万円(前年同四半期は営業損失1億22百万円)となりました。

#### ② 照明制御事業

国際標準規格DALI制御の「S I e r」としてのポジションを活かし、社会に適合したソリューションビジネスを積極的に展開いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1億45百万円(前年同四半期比16.1%減)となり、営業損失は19百万円(前年同四半期は営業損失12百万円)となりました。

#### ③ 不動産賃貸事業

不動産の賃貸を事業としており、売上高は51百万円(前年同四半期比2.4%増)、営業利益は30百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は61億24百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億17百万円減少しました。これは主に、現金預金が1億4百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が10億66百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は25億31百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億7百万円減少しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が7億80百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は35億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億9百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が92百万円減少したこと等によります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月14日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,643,018	1,747,432
受取手形・完成工事未収入金等	1,871,745	804,779
未成工事支出金	208,134	425,090
仕掛品	312,372	27,353
その他のたな卸資産	3,502	18,826
その他	121,181	97,559
貸倒引当金	△18,203	△769
流動資産合計	4,141,751	3,120,272
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	331,562	328,796
土地	1,520,934	1,554,049
その他（純額）	9,830	17,553
有形固定資産合計	1,862,327	1,900,399
無形固定資産		
	8,340	8,340
投資その他の資産		
投資有価証券	981,689	960,723
その他	164,513	151,347
貸倒引当金	△16,070	△16,169
投資その他の資産合計	1,130,132	1,095,901
固定資産合計	3,000,800	3,004,642
資産合計	7,142,552	6,124,914

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,565,028	784,867
短期借入金	220,000	190,000
未払法人税等	78,814	8,905
賞与引当金	153,130	51,535
役員賞与引当金	14,660	3,000
受注工事損失引当金	—	3,771
その他	329,652	401,156
流動負債合計	2,361,286	1,443,235
固定負債		
リース債務	65,487	47,970
繰延税金負債	106,665	103,964
退職給付に係る負債	859,890	885,916
役員退職慰労引当金	23,558	28,119
その他	22,035	22,035
固定負債合計	1,077,636	1,088,006
負債合計	3,438,922	2,531,241
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,310,825	1,310,825
資本剰余金	1,087,084	1,087,084
利益剰余金	1,108,377	1,015,711
自己株式	△131,178	△131,369
株主資本合計	3,375,108	3,282,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330,763	311,982
退職給付に係る調整累計額	△2,242	△560
その他の包括利益累計額合計	328,520	311,422
純資産合計	3,703,629	3,593,673
負債純資産合計	7,142,552	6,124,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	3,501,248	3,959,823
売上原価	2,606,871	3,076,510
売上総利益	894,376	883,313
販売費及び一般管理費	999,678	979,336
営業損失(△)	△105,301	△96,023
営業外収益		
受取配当金	18,592	20,833
受取手数料	22,774	24,137
その他	15,105	12,898
営業外収益合計	56,472	57,869
営業外費用		
支払利息	2,502	2,448
その他	417	610
営業外費用合計	2,920	3,059
経常損失(△)	△51,749	△41,212
税金等調整前四半期純損失(△)	△51,749	△41,212
法人税、住民税及び事業税	11,216	11,381
法人税等合計	11,216	11,381
四半期純損失(△)	△62,966	△52,594
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△62,966	△52,594

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純損失(△)	△62,966	△52,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,851	△18,780
退職給付に係る調整額	4,335	1,681
その他の包括利益合計	83,186	△17,098
四半期包括利益	20,220	△69,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,220	△69,693

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	情報通信事業 (千円)	照明制御事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	3,277,816	173,495	49,936	3,501,248
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,277,816	173,495	49,936	3,501,248
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△122,645	△12,936	30,280	△105,301

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	情報通信事業 (千円)	照明制御事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	3,763,081	145,615	51,127	3,959,823
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,763,081	145,615	51,127	3,959,823
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△106,994	△19,876	30,848	△96,023

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、既存事業の収益率の向上を目的とした組織変更に伴い「建設事業」と「情報システム事業」を統合し「情報通信事業」としております。また同時に、照明制御事業の拡大を目的とした組織変更に伴い、従来、「建設事業」に含まれていた「照明制御事業」を区分し、報告セグメントは「情報通信事業」「照明制御事業」「不動産賃貸事業」に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分方法に基づいております。